

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成30年3月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700118
法人名	社会福祉法人 欣生会
事業所名	グループホーム 杜のかおり
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554-6 (電話) 099-474-2224
自己評価作成日	平成30年1月29日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年2月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・新規事業として、平成29年8月1日より開設しています。法人の理念として「誠心(おかげさまの心)」があり、理念を基に支援に努めている所です。また、グループホームとして、特別な方針をたてるのではなく、まずは「誠心」の理念を個人で理解と解釈をする事、その上で自分自身の考えに組み込み支援に繋げる方向で進めています。その様にする事で、「考える」行動力が生まれ、状況に応じた支援に繋げていけるようになる事、個人の向上にも繋がると考えています。

・職員の特徴としても、季節を考えた取り組みが行えていると感じています。人員体制も含め、入居している方に寄り添う支援が行えているのではないかと感じています。

・開設して、半年も経過しない中ですが、今後の支援についても「考える」行動力を忘れない様にする事、持続させていく事で良い方向に向かっていくのではないかと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○当ホームは、昨年8月に医療法人経営者より運営を引き継いだばかりのホームである。職員や利用者は変わりなく経営主体者が変更になり、特別養護老人ホームを始めとする介護サービス事業を展開する法人との連携があり、新体制でサービスに取り組んでいる。

○理念は、前任経営者の思いが込められたもので、～誠心～「おかげさまの心」という基本理念であり、利用者には尊厳を持って接し敬い、人権を尊重して、個々の有する能力にて応じて自立した生活を営むことができるよう援助し、良質の介護・医療を提供し、地域の活性化に貢献するといった方針になっている。管理者は、理念は職員に浸透しているとは言い難く、振り返りの機会もないため今後、検討したいと思っている。

○利用者は、平均の介護度が要介護2～3程度が多く、ご夫婦で入居されている方もおられる。移動が自立している方も多いが要介護度が高く、常時介護が必要な方もおられる。職員は、昼間は、共有スペースや居室で心穏やかにご自分の時間を過ごしていただけるよう取り組んでいる。また、有資格者が多く法人の研修会や外部の研修会、内部研修会への参加をおこないスキルアップしながらサービスの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・「誠心（おかげさまの心）」として理念があります。現在は、法人の理念を基に、各職員の考えに組み支援に繋げていく様に伝えています。また、職員自信、誠心という理念がどの様にサービスに実現しているのか、話し合いながら業務に勤めている。 	理念は、玄関や事務所に掲示されているが、元々の開設者の思いが込められたものである。職員の意識はあるが、浸透しているとは言い難く今後、理念の見直しや振り返りの機会を持つ予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月に開設し、地域集落の清掃作業に2回参加をしています。また、地域代表者に協力依頼をし運営推進会議に参加して頂いています。 ・地域支援パートナーの受け入れ。 	自治会に加入し、地域の清掃活動に参加している。管理者は、地域にAEDがホームにしかないため、緊急時の対応やAEDの使用方法について地域合同の勉強会を開催したり、グループホームや認知症への理解を深める機会を検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でも地域の方に「介護に関する相談所」として活用して頂きたい事を伝えています。小さな事からでも地域貢献が行えればと感じています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を2ヶ月に1回開催しています。運営状況の説明、アドバイスを頂きながら向上に努めています。 	自治会長に猪駆除について相談するなど協力関係があり、ホームの取り組みや現状報告を行い、地域の課題などをメンバー間で話し合い解決策を検討している。新体制の事業所が地域に受け入れられ相互に交流し協力関係が築けるよう働きかけていく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・行政代表として、運営推進会gに参加して頂いている。また、質問事項については、行政担当に連絡し意見をj得る事もあります。	地域包括支援センター職員や行政との協力関係があり、電話や面談にて助言やアドバイスを受れたり、運営推進会議に出席していただき事業所の実情や取り組みを把握していただくなどしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束について、日頃の言動も含め注意し支援に繋げている所です。また、本人本位に立ち支援に努めている所です。 ・今後の課題としても、定期的に学びの場を持つ事も必要と感じています。	玄関は、施錠していないが周辺が山間のため、建物の出入り口には、門扉を取りつけるなど利用者の安全な暮らしを確保している。離床センサーの活用があるが、介護計画書に位置付けてカンファレンスなどで話し合うなど必要性について検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・高齢者虐待に対し、学ぶ機会を持っていく事は課題となります。しかし、日々の支援を振り返ることも学ぶ機会、防止に繋がる機会となります。小さな気付きから予防にも繋がる事となると思っています。働きやすい環境にしていく事も防止になる事と思っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・学ぶ機会を持つ事は課題になります。しかし、日々の支援を振り返る事も学ぶ機会となります。自己覚知と言う様に、職員自信が自分の事を理解し支援にあたる事、相手の行動の意味を知る、理解していく事も必要と思ひます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所契約前の相談より、親身に相談を受けながら関係を築いて着ています。契約時も丁寧に時間を掛け、意向の確認を行いながら説明をしています。納得して頂いた中で契約に繋がっていると感じています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・苦情対応の窓口について、グループホームだけではなく、法人、行政、地域代表と設けています。また、家族の意見についても、いつでも伝えて頂ける様に説明し、どの様な内容でも親身に受け止めて改善できる姿勢でいる事も伝えている。	管理者は、利用者や家族が意見、要望が出しやすい雰囲気作りに努めている。また、今年7月頃には家族交流会が開催できないか摸索しているところである。重度の利用者の暮らしぶりを写真に収め家族に伝えるなど工夫し支援状況をお伝えしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月、部署会議、法人の職員会議を実施。会議の場での意見交換もありますが、大切な事は日々の支援の中で意見交換を行い反映させる事が重要です。多様な視点から考え、意見に繋がっていると感じています。	管理者は、職員の意見、提案について、部署会議などで職員全体で意見交換し話し合っている。入浴に必要な福祉用具の購入の検討や有休や育児休暇が取りやすいよう配慮したり、忘年会や新入社員の歓迎会などをおこない親睦を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・就業規則、給与規定あり。 ・職員が長く、安心して支援に繋がっていくにも、シフト調整等が必要になります。休憩時間についても互いの為に確保が出来る様に調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修案内が来た時は案内し地域の研修会、法人の研修会に参加している。 ・研修会の機会は少ないと感じている。自発的な研修会の発掘、学びたいと思う事の意識を持っていく事で、自己啓発の部分からスキルアップに繋がると感じています。また、日々の支援が一番の学びと思っています。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同法人職員との交流を図っているが、学びの部分としても交流を図れる機会を持っていく必要があります。また、他事業所との交流も検討している部分があり、職員間の交流を図る事も互いのスキルアップに繋がる事を意識している。 ・大隅介護事業所連絡協議会加入 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・初期の信頼関係については、入所相談時からの関係の構築が必要です。また、入所前の訪問から情報を受け状態を浮かび合わせながら支援の想定をする様にもしています。また、入所後も状態を観察し小さな気付きを持つ事、相談を受けながら支援に繋げ信頼を築ける様にしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・初期の信頼関係については、入所相談時からの関係の構築が必要です。入所後も同様に日々の相談を受けること、互いが協力して支援に繋がっていただける様にも考えを伝えながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・初期に必要なとされる支援についても、訪問による情報、家族からの情報から想定し支援に努めている。支援に努める中で職員間の意見から新に必要な支援に繋がることもあります。外部サービスとの連携は行えていない。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・本人本位の意識を持ち支援に繋げる事を基本としています。グループホームを生活の場として考え、共同で暮らしている関係を築ける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族との関係を維持していく事、繋げて行く事も支援の大切な部分として取り組んでいます。また、繋いでいく事で個人への安心感にも繋がる事を意識している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・情報を集めながら、どのような関係性であったか確認をする事もあります。その中で今までの生活を大切にしていける様な意識を持ち支援をしていると思います。	アセスメントにて、入所前からの人間関係や馴染みの場所などを利用者や家族などから情報収集しこれまでの関係性が途切れることがないよう支援している。近くの自動販売機にジュースを買いに行かれる方や行きつけの店に買い物に行く方がおられる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・個人で過ごす時間を持つ事も大切ですが、職員が間に入り交流を図りやすい環境にもなっています。関係を築く中、入居者同士の助け合いも見られる様になっています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・まだ契約終了者はいません。契約時に契約終了の時には、他の事業所に繋ぐ事も含め最後まで支援をする事を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・基本は、個人を主とし支援を検討しています。また、生活の中で相談を受け支援に繋げる事、言動から汲み取り支援に繋げる事もしています。	職員同士の会話の中や部署会議などで思いについて触れる機会を設け情報を共有するように努めている。意思表示の少ない方の表情やしぐさ、行動などを参考に家族と情報を共有しながら本人の思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご家族、本人より生活歴を確認し、生活に繋げ様とする事もあります。また、「生活」とはと意識を持ち支援をしていると思います。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一人ひとりの生活ペースに合わせて過ごして頂く事、生活の様子をみながら状態の把握には努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・計画については、日頃行われる支援からの意見。個人や家族の意見も含め収集し作成しています。また、日々の記録、意見から評価にも繋がります。	本人の思いを抽出し、本人らしい生活の実現に向けてチームで話し合い、個々の目標達成期間により評価し、必要に応じて見直している。会議に家族の参加がないので今後は家族が参加しやすいよう日程調整していく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の様子は支援経過記録、個人チェック表等を活用している。記録の確認を行う事、意見を交わしながら状況の共有に努め活かしていると思う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・一人を支える為には、共同で支える意識を持つ事が必要になります。課題として地域の社会資源を活用し多様な支援に取り組んでいく必要があると思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・グループホーム周辺の地域資源は把握していると思うが、活用する点については課題となります。安全面については、駐在所と情報交換、協力を頂きながら安全な暮らしに繋がっていると思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・契約時、前に協力医の説明をし、診療情報書の提供を受け医療機関に掛かっている。24時間の連絡体制も取れており、安心な面でもある。	月1回の訪問診療や週1回の訪問看護による医療連携が図れており、訪問歯科診療を受け入れ義歯調整などでもらっている。他科受診は、職員が対応し家族に連絡や報告をするなど連携している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・訪問看護事業所と協力体制を築いている。24時間の連絡体制を整えている事も支援をしていく上での安心に繋がっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・開設後、入退院者はいません。医療と連携については、協力医、協力歯科医、訪問看護と連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・終末期を迎える事は、本人、家族、事業所共に支えあいが必要となります。色んな葛藤や悩みが出る事もあり、家族支援も必要となります。ですが、最後を向かえる本人への支援を中心とし、どの様な最後を向かえられるか考えて支援が必要と考えています。</p>	<p>入居時、「看取りに関する指針」にて重度化した場合についても指針を提示し説明している。また、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」を取り交わし、利用者や家族の意向を踏まえ納得のいく最期を迎えられるよう支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・緊急時の連絡、対応方法はありますが、訓練等の定期的な実施はない。処置を行う時に疑問がある時は訪問看護に確認しながら実施しており、随時指示が貰える状況にはあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・避難計画等、作成し閲覧できる様にはしている。また、運営推進会議にて地域への協力依頼はしている。緊急火災通報には職員、地域の方にも通報が行く様にしている。訓練等の参加は今後の取り組みとなります。</p>	<p>地域とは、自治会長の理解や協力が得れており来月3月には、地域の方々に施設見学を検討しホームの現状をより多くの地域住民に知ってもらう機会を設ける予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個人の人格や尊厳を守っていく事は必要であり、意識して支援に繋がっていると思います。個人の特徴を生かした支援、胸を張って生活が出来る様な取り組みは行えていると思います。また、接遇についても注意する部分もありますが、その都度、改善が出来る様にも努めています。	誇りを傷つけることなくプライバシーに配慮したケアに取り組み、本人に合った言葉使いに留意するなど失礼のないようケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・「意思の表出」「自己決定」は大切と意識しており、尊厳を守る事にもなります。入居者様より言葉を貰った時は、報告をし支援に繋がっています。また、意思の実現には職員の引き出しも大切。今までの生活も含め意思を汲み取り繋がっていく事もあります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・確実に希望に添った支援に繋がっていないと感じている方も居るかもしれません。ですが、日頃より相談をしながら意思に沿える様な意識を持ち支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・毎朝、鏡で自分の顔を見て化粧水、乳液をつけたり、髭をそったりと身だしなみを整えています。また、衣類に職員が担当になり家族に相談し持って来て頂く事もあります。いつまでも「身だしなみ」は大切と思っています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・一緒に献立を考える事、行える方は野菜の下準備等を一緒に行って頂く事もあります。日頃から一緒に取り組める様にしています。最近は自発的にそれぞれが好きな役割を気分でしてくれる事もあります。	必要な方には食事介助したり、食事形態を工夫し誤嚥なく食事が楽しめるようケアしている。また、能力に応じてお手伝いをされる方がおられたり、おせち料理、クリスマス会などの行事食、手作りのおやつ作りに取り組むなどしている。来月は、個別で外出に出かける予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・嗜好、体調等も含め提供の工夫に努めています。旬の食材を分かち合ったりする事もあります。食事形態、量等も希望や状態に合わせて工夫をしている。また、食事、水分量等の把握にも努めて体調に指標にもなっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・食後、義歯洗浄や嗽等の介助、自分でして頂く様にしています。口腔内の清潔を保持していく事が食生活に大切な事、健康にも関係してくる事を意識して支援しています。必要によっては歯科医等に相談する等、連携が図れる様にもなっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・能力、体調に応じた排泄の仕方を本人、家族、職員等と相談をしながら支援に繋げています。また、日々の状況に応じて支援方法の検討に努めています。	利用者とは十分に意志疎通を図り本人や家族の思いに寄り添い、座位姿勢を補助するなどトイレでの排泄支援を実施している。また、職員は、水分補給にも気を配りながら排泄の自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・内服薬の調整、乳製品の使用、食事や水分量の調整、運動等、工夫を行いながら予防に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・曜日の設定はしていますが、希望に添える様な体制にはなっています。無理に行う事でお風呂が嫌いにならない様に「気軽」「楽しんで」入れる様に意識しています。	概ね週2～3回程度、入浴支援をおこない気持ちよく入浴していただけるよう声かけや対応を工夫している。また、本人の希望を尊重し同性介助にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・生活習慣や体調、気分により休息を図れる時間がとれる様にしています。睡眠状態についても把握をし検討を行なう事もあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・協力医、訪問看護、薬局等と相談が行える様な体制になっている。服用時は用途を確認しながら飲んで頂いている。また、薬を飲んだ事による症状等の観察にも努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・個性に合わせ、楽しみのある生活を送れる為に、日課が固定化する事がない様にしている。季節、時事等の情報、職員の特長も取り入れ支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・外出支援はいつでも実施できる様な体制ではありません。集団ではなく、個別で実施も大切な事、外出支援に繋げる事で生活の幅が広がり、精神面の安定に繋がる事も意識している。地域協力体制については課題にもなります。	天候や体調に合わせて近隣を散歩したり、自動販売機にジュースを買いに行かれる方がおられ、初詣は個別グループにて外出した。職員は、今後も利用者の希望を聞き取りながら、個別に本人が行きたいところに外出ができるよう支援していく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・個人で金銭を所持する大切さ、安心を得る事は必要になります。の分、損失するリスクもあるので家族の理解、職員の注意が必要になります。ご家族に相談し、個人で金銭を所持し買い物に行かれる方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・「家族」繋がりをもちたいと思う事は普通の事と考えています。ご家族に相談し電話をする方もいますし、年賀状を送った事もあります。ご家族の理解を得ながら機会を増やしていければと思います</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・個々の好み、認知症の症状を理解し、不快になる要因を出来る限り排除できるよう、日々のかかわりのなかで得た情報を共有し暮らし場に取り入れています。</p>	<p>天窓による自然の採光があり、ウッドデッキに好きな時に出入りができて布団や洗濯物が干してあり、景色を眺めたり日光浴ができる家庭的な環境であり避難にも役立っている。また、加湿器を活用し室温の管理をしたり、対面式キッチンで音や匂いなどが五感を適度に刺激してくれるほか、新聞を読んだりして、思い思いに過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・個室な為、一人になりたい時は過ごして頂く事もあります。また、限られた空間ではあるが、一緒に過ごせる配慮、過ごす場所を選んで頂きける配慮をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・生活空間は十分な居室スペースがあり物の配置等も相談をしながら決めています。布団等、使い慣れた物を自宅から持参して頂いたり、ご家族にお願いをする事もあります。使い慣れた物が自宅の雰囲気を表し、安心に繋がる事もあると思います。	居室は広く、洗面台が設置されており、どの居室も全体的にすっきりとまとまった感があるが、馴染みの物を持ってきて欲しいと入居時に依頼している。ご夫婦で入居されている方には、本人と相談しながら同室で休むことができるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・日頃の言動、行動を観察しながら、導線の工夫をしたり、「居室、トイレ、風呂場」に自分で向かう事が出来るような工夫、支援をしていると思います。日常生活を通してリハビリに繋がると意識をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない